

館長からのご挨拶

兵庫県立人と自然の博物館 館長
中瀬 勲



いよいよ、あるいは、ようやく「ひとはく」は開館から25年目を迎えることができました。思い返しますと、この時間経過の中で、博物館と共に私達スタッフも着実に成長してきたように思われます。人生に例えるならば、自律ある、自立した博物館になったのです。資料を収集し、展示し、観覧に供する従来型の博物館のイメージに、行動する博物館、出かける博物館、交流する博物館、思索する博物館として、研究を基礎にして人々の学びへの意欲を誘い支援するとともに、地域創生にも貢献する新しい意味を付加し続けてきたといっても過言ではありません。

過去5年間に、館員の皆が発想し、練り上げ、実現させてきた5トピックスと25プロジェクトの内容を中心として、「ひとはくレポート(2012-2016)」を発刊する運びになりました。この内容は、まさに上記の博物館の新しい意味を象徴しているものと自負しています。20年までの歩みは「みんなで楽しむ新しい博物館のこころみ」(研成社、2012)に収録されていますので、本書と共にご覧頂けたらと思います。

ここまでに至る過程で、ご指導を頂いてきた準備室長の伊谷純一郎先生、歴代館長の加藤幹太先生、河合雅雄先生、岩槻邦男先生、そして博物館を心から支えて頂いた県民・市民の方々、兵庫県、兵庫県教育委員会の各位に心からお礼申し上げます。

目次

- 02 館長からのご挨拶
- 03 ひとはくの使命と目指す博物館像
- 04 ひとはくの5年間の取り組みを語る5トピックス
- 14 ひとはくの5年間の取り組みを語る25プロジェクト
- 26 数字でみるひとはく
- 30 ひとはくの歩み
- 33 組織体制・施設概要・予算額
- 34 研究員紹介



深田公園からのひとはく外観

ひとはくの使命と目指す博物館像



ひとはくミッション

ひとはくは
「地域を愛する心をはぐくみ、地域の自然・環境・文化を未来へ継承すること」
を使命とし、
「創造と共生の舞台・兵庫で県民のみなさんと共演する生涯学習院※」
の実現を図っていきます。

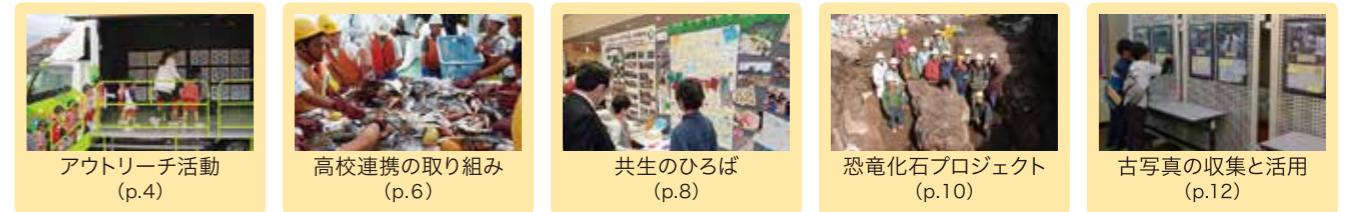
実現のための5つの行動指針

1. 変化する社会状況に対応する
2. 研究 - シンクタンク事業を強化する
3. 好奇心を刺激し、学び続ける仕組みを提供する
4. 担い手を育成し、活動の場を創造する
5. 多様な主体と連携し、地域づくりに貢献する

※生涯学習院：すべての人の「生涯学習」を支援することを目的とした仕組みや組織、およびそれが果たす機能の総称。

本レポートには、ミッションを実現するためのひとはくの取り組みを具体的に紹介しています。

5年間の取り組みを語る5トピックス



プロジェクト群※



※例年、ひとはくは数多くのプロジェクトを実施しています。2016年度のプロジェクト件数は、約70件でした。